

標 準 構 造 図

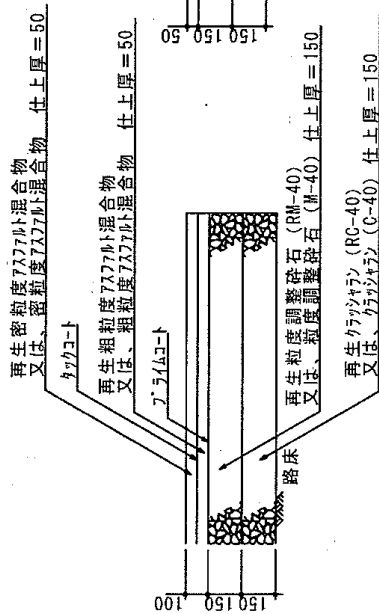
(参 考 資 料 1)

目 次

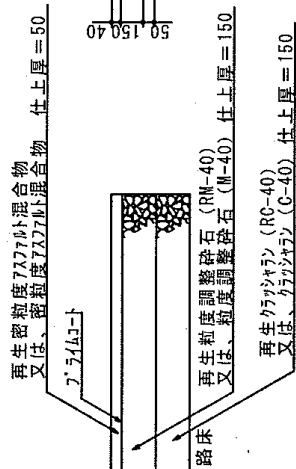
道路構造	1
下水道構造	15
消防水利構造	41
交通施設構造	48
浸透トレンチ構造	50

舗装構造図

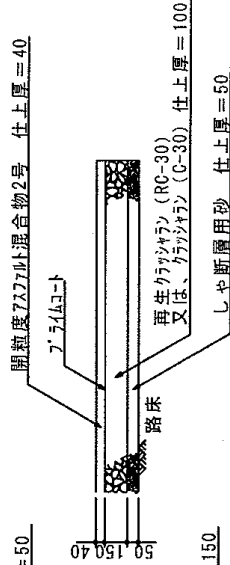
40型



35-I型



歩道 (透水性舗装)



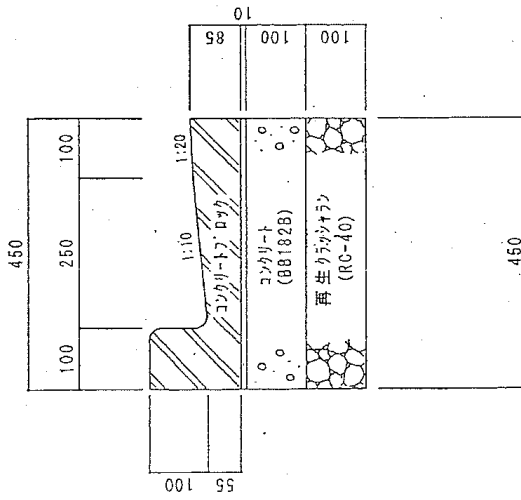
注：小平市に帰属する道路については、原則として以下の舗装構造とする。

- 【 40型 】
- (1) 通り抜け道路及び将来通り抜けの可能性のある道路
- (2) 延長60m以上の行止り道路
- (3) 幅員6m以上の道路
- 【 35-I型 】
- (1) ~ (3) 以外の道路

L形側溝工（鉄筋コンクリートL形、250用）

縮尺1:10

断面図



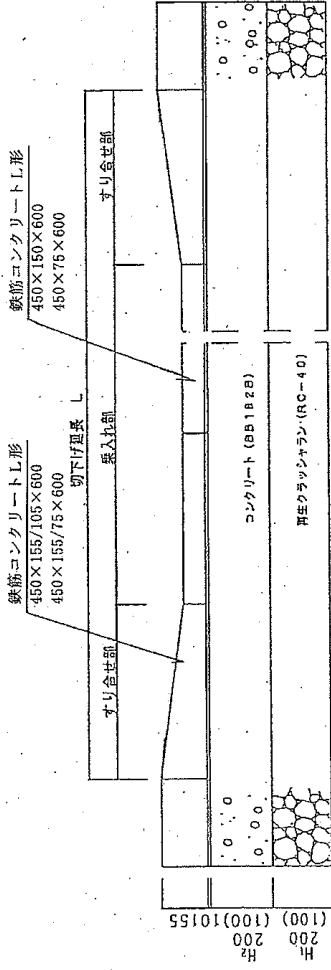
材料表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	備要
再生アクリラン	RC-40	m ³	4.5	
コンクリート	BB182B	m ³	4.5	
鉄筋コンクリートL形	250用	個	165.0	
モルタル	1:3	m ³	0.5	敷モルタル用
(モルタル)	1:3	m ³	(-)	(目地モルタル用)
型枠	E	m ²	20.0	片側型枠 10.0

注：各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
切下げ部は、段差20mmを標準とする。

L形側溝（切下げ部、250用）

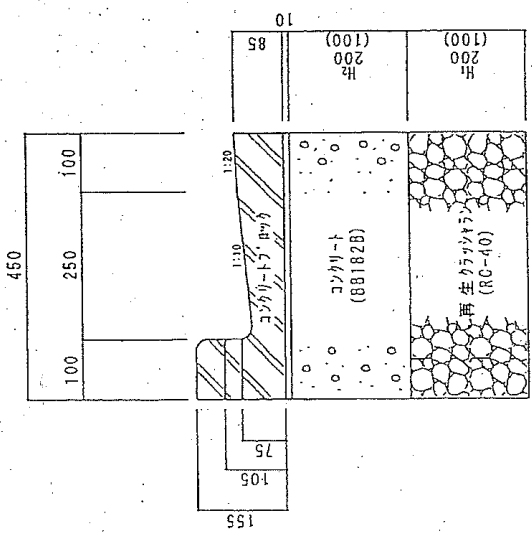


注：各ウレタの間には、目地を施すこと。
切下げ部は、段差20mm及び50mmのL形側溝を対象とする。

材 料 表

(100面所当り)

型式	切下げ 延長 L (cm)	H ¹ (cm)	H ² (cm)	コンク リート B182B (m ²)	モルタル 1:3 セメント 比 (m ²)	型 枠 E (m ²)	再生クラッ ッシュラン RC-40 (m ³)	すり合わせ ブロック (個)	嵌入れ ブロック (個)	收容施設の特別 仕様
T	303	10	10	13.6	1.4	60.6	13.6	200	300	特殊排水を收容 する施設
A.S型	424	20	20	38.2	1.9	169.7	38.2	200	500	小型自動車及び 普通自動車を 收容する施設
B.S型	545	20	20	49.1	2.5	218.2	49.1	200	700	前面道路のせま い場合
C.S型	727	20	20	65.5	3.3	290.9	65.4	200	1,000	普通自動車を収 容する施設

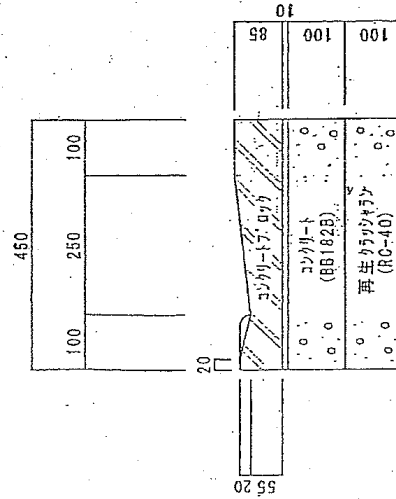


L形側溝工（鉄筋コンクリートL形、250用）

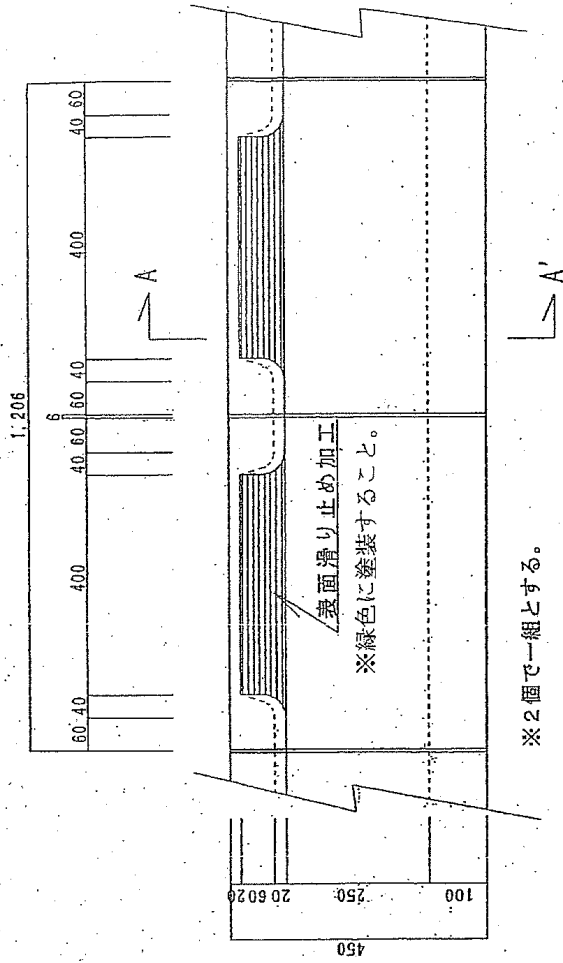
縮尺 1:10

車いす用切下げ部

A-A'断面図



平面図



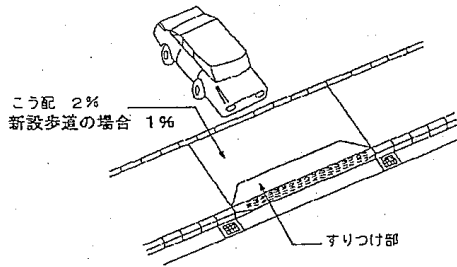
歩道の車乗り入れ部舗装構造図

乗り入れ施設の構造

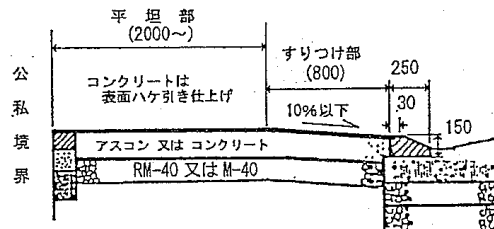
切下げ延長及び舗装構造

項目 種別	切下げ 延長(L) m	セメントコンクリート舗装			アスファルトコンクリート舗装				収容施設の種別
		セメント コンクリート (BB212B) cm	再生 粒度 調整 砕石 cm	舗装厚 cm	細粒 アスコン cm	再生 粗粒 アスコン cm	再生 粒度 調整 砕石 cm	舗装厚 cm	
A型	3.03	15	15	30	5	—	30	35	軽自動車を収容する施設
B型	4.24	15	15	30	5	—	30	35	小型自動車及び普通自動車を収容する施設
C型	5.45	15	15	30	5	—	30	35	同上 前面道路の幅員が狭い場合
D型	7.27	20	20	40	5	10	35	50	普通自動車を収容する施設

- 注：(1)原則として、特殊街きょブロックを使用すること
 (2)アスファルトコンクリート舗装を標準とすること
 (3)上記の表によりがたい場合は、別途協議とすること

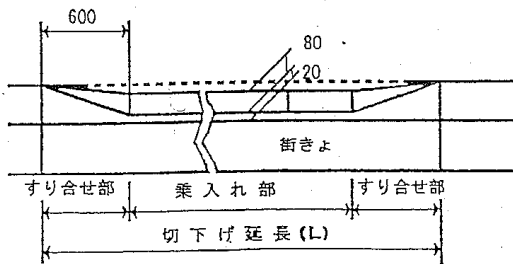


断面図

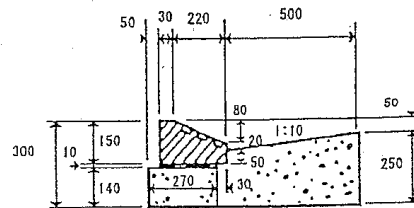


注：断面図の()内は、平坦部が2m以上の場合を示す。

側面図



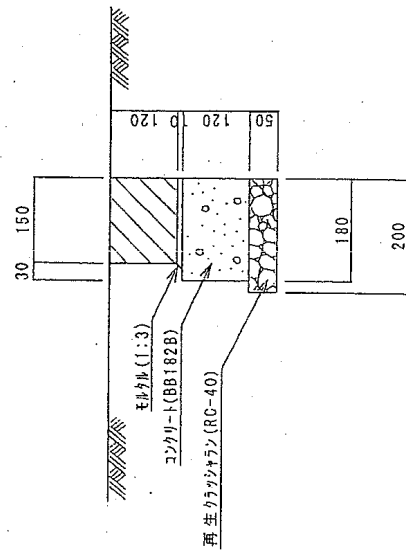
詳細図



工 石 境

S=1:10

一 般 部



材 料 表

品 名	形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
再生砕石	RC-40	m ³	1.0	
コンクリート	(BB182B)	m ³	2.2	
モルタル	1:3	m ³	0.2	
コンクリートブロック	150×120×600	本	165.0	
型 枠		m ²	24.0	

(100m当り)

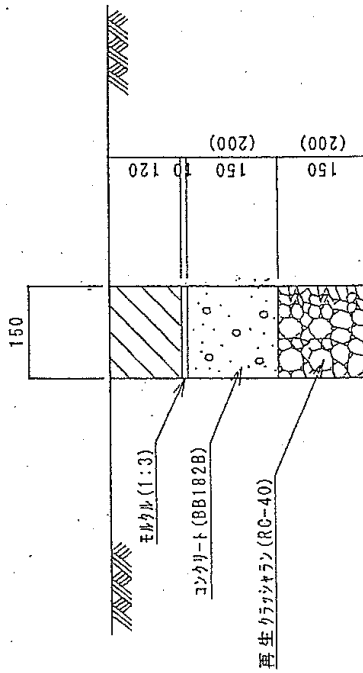
注：各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

境 石

S=1:10

車乗入部

A, B, C型 (D) 型



注：各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
注：() 表示はD型を示す。

材 料 表

A, B, C 型

品 名	形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
再生クラックラン	RC-40	m ³	2.3	
コンクリート	(BB182B)	m ³	2.3	
モルタル	1:3	m ³	0.2	
コンクリートブロック	150×120×600	本	165.0	
型 枠		m ²	30.0	

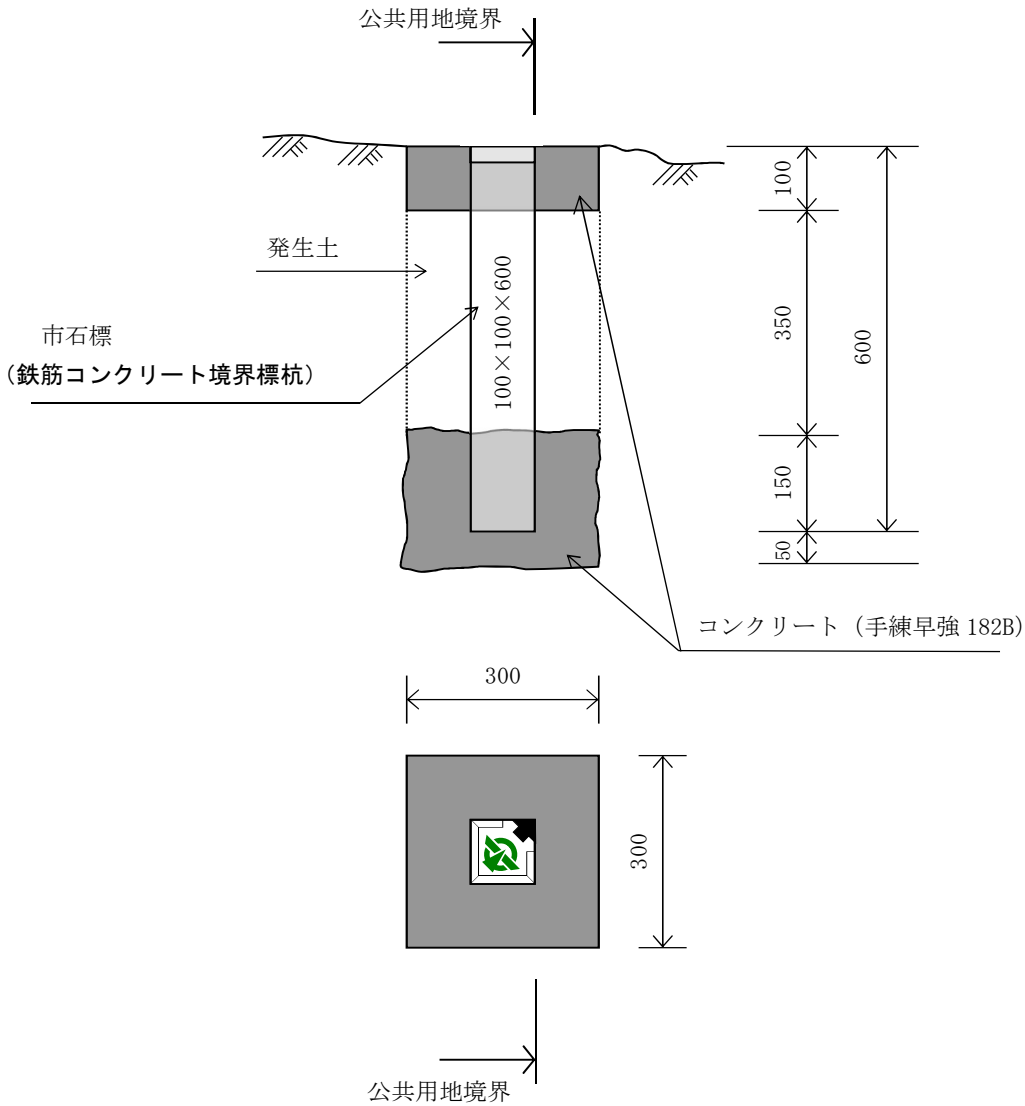
(100m当り)

D 型

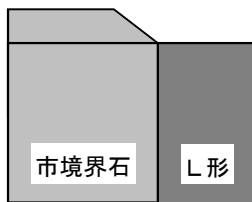
品 名	形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
再生クラックラン	RC-40	m ³	3.0	
コンクリート	(BB182B)	m ³	3.0	
モルタル	1:3	m ³	0.2	
コンクリートブロック	150×120×600	本	165.0	
型 枠		m ²	40.0	

(100m当り)

市石標設置標準構造図



L形溝抱き込み（高さ）設置図（100×100×600）



左図を標準とし、境界標テーパ下とL形溝コーピン天端を合わせること。
市石標はコンクリートで巻き、底部分にもコンクリートを打つこと。

注1：基準を満たさないものについては、入れ替えを指示することがある。

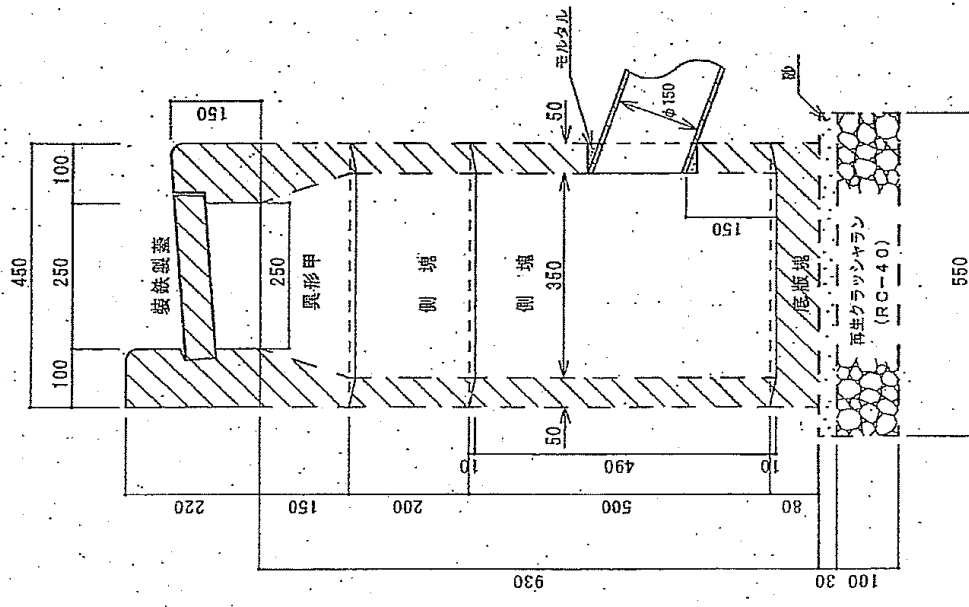
また、これによりがたい場合は、別途協議とする。

注2：本手引きに基づく開発事業において、開発事業者が購入する市石標の販売店については道路課に
確認すること。また、購入する際に販売店へ事業者名ならびに事業地、購入本数を告げること。

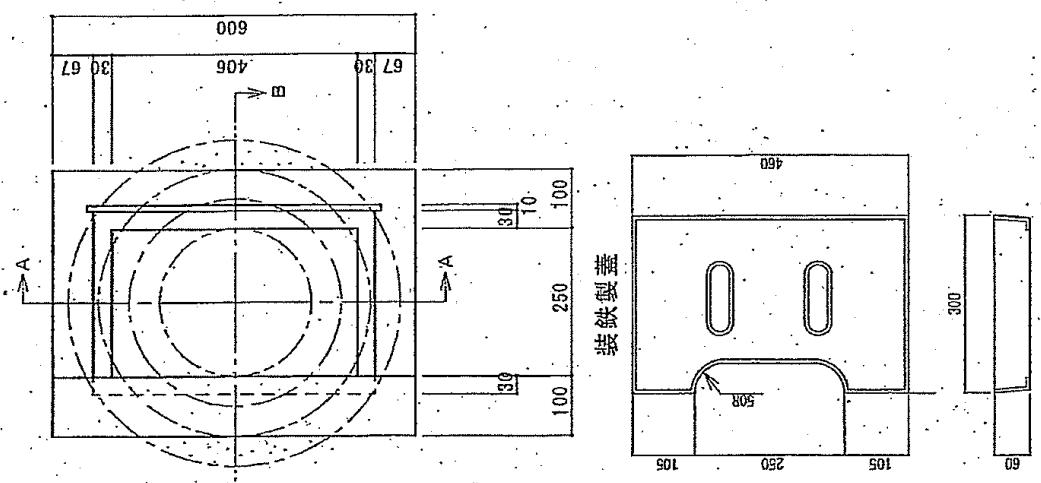
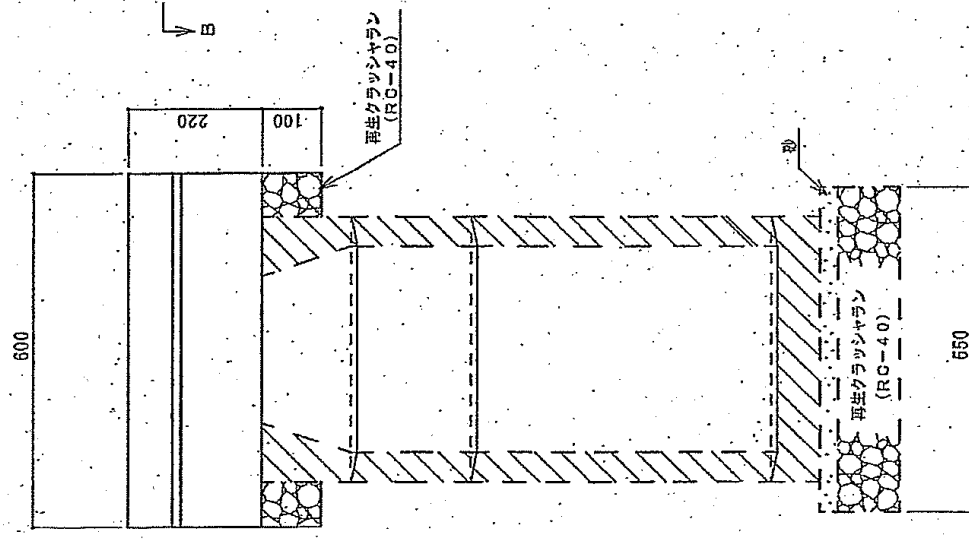
注2：本手引きに基づく開発事業において、開発事業者が購入する市石標の販売店については道路課に
確認すること。また、購入する際に販売店へ事業者名ならびに事業地、購入本数を告げること。

L形側溝用集水ます (250用) S=1:10

日一B断面図

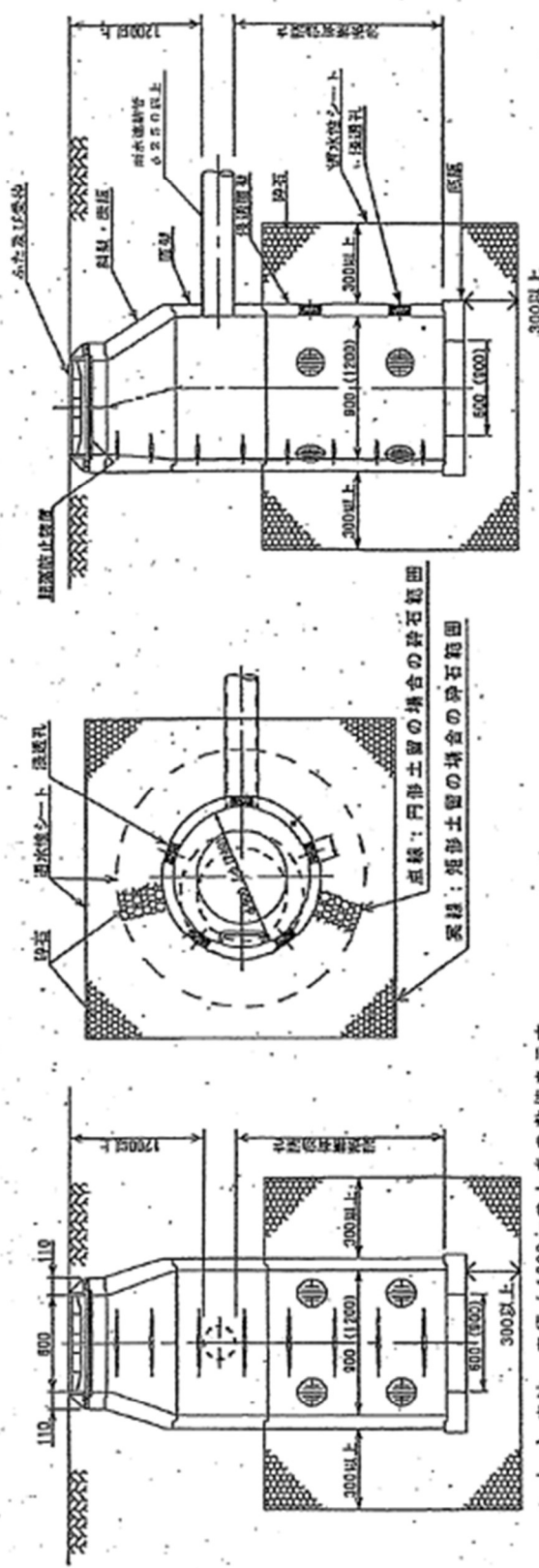


A-A断面図



※原則として装鉄製蓋を使用するが、路面排水が集中する箇所等には、協議によって鋼製網蓋を使用することができる。

雨水浸透槽 (内径φ900・1200mm) 標準構造図



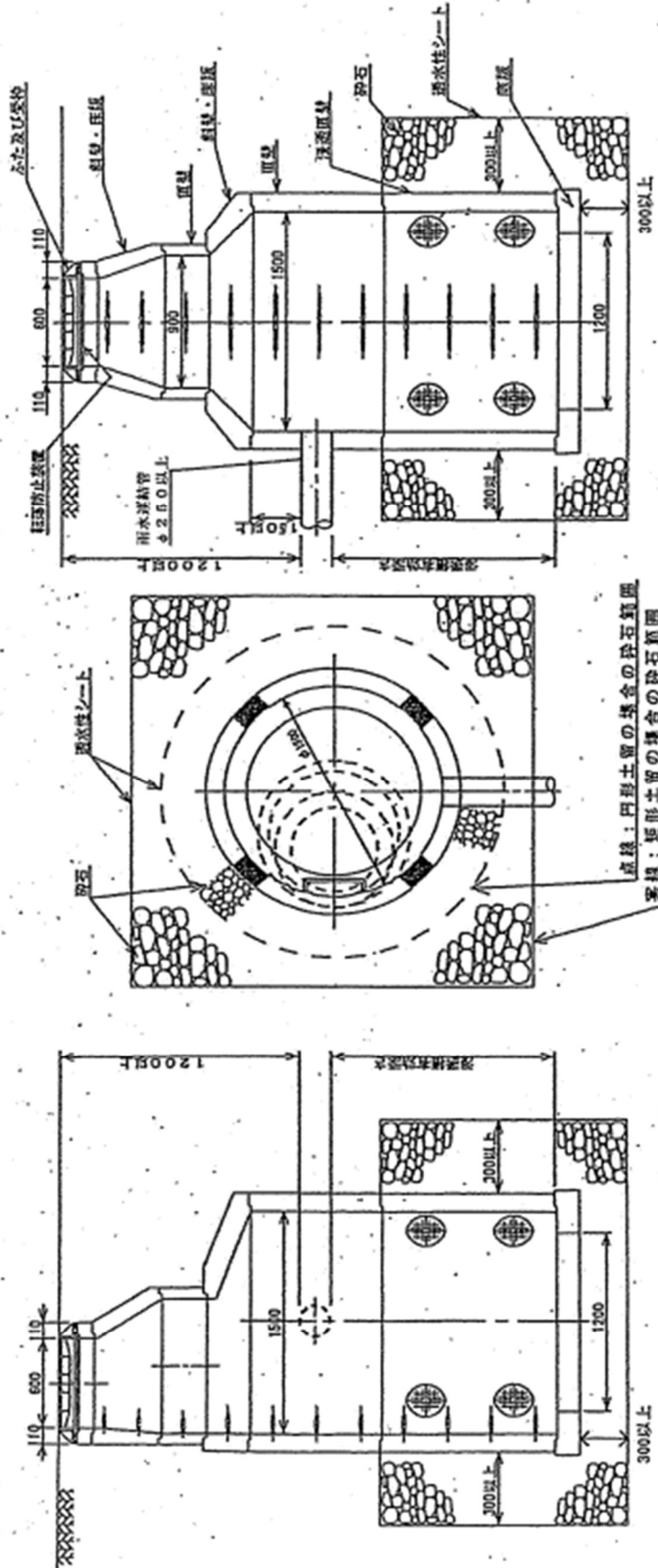
* () 内は、内径φ1200mmのときの数値を示す。

※原則、側面部への砕石及び横穴を設置すること(ただし、砕石部分は雨水処理量には含まれない)。

注：下水道施設等の接続放流先のない場合の整備について(分流域の場合)

- (1) 道路雨水を浸透槽により処理する場合は、接続管渠の布設を将来の下水道計画に合わせて布設すること。
- (2) 家庭用雑排水、汚水(し尿家庭浄化槽)は、接続できません。
- (3) 施設については、衛生上、安全上支障のない構造とすること。
- (4) 安全上支障のない様に土留工を設置し、浸透槽設置後に撤去すること。ただし、円形ライナープレートを使用の場合で、マンホール直壁とのすき間がせまい設置構造とする場合は協議の上で行うこと。その際ライナープレートには、孔あけ加工(φ20~30 20個/㎡)を行うこと。

雨水浸透槽（内径φ1500mm）標準構造図

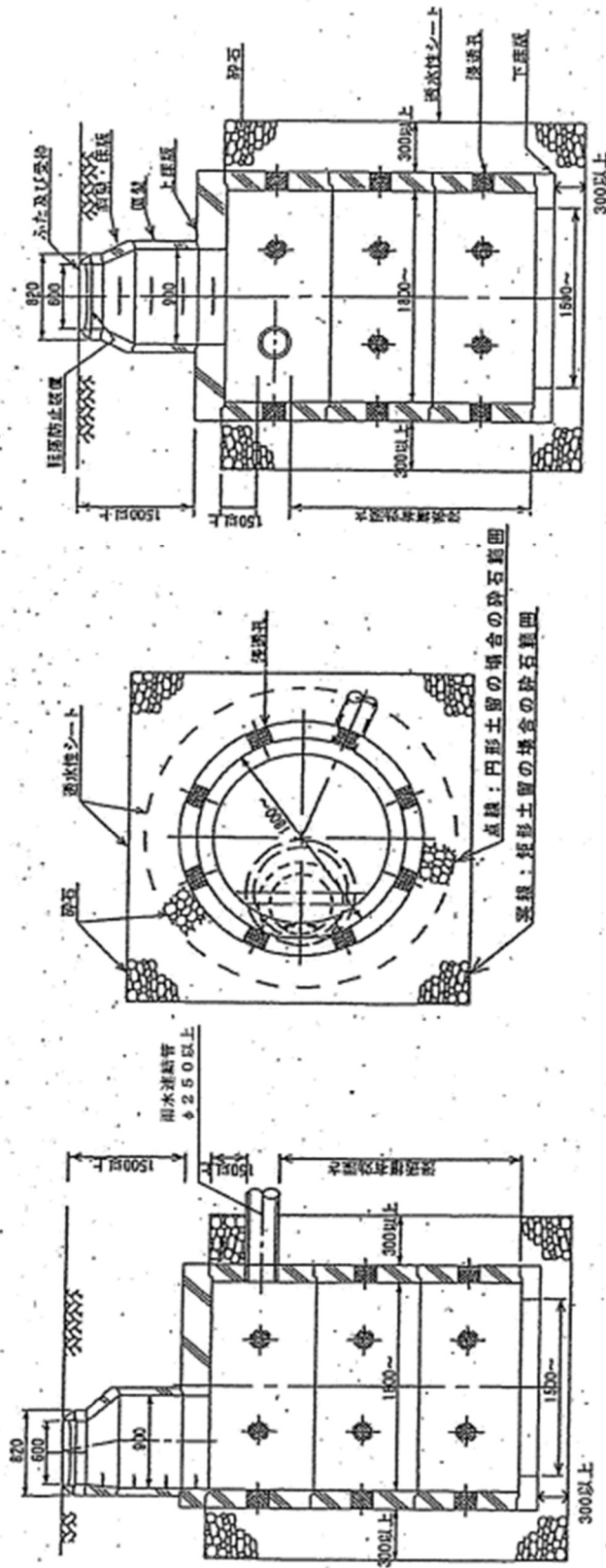


※原則、側面部への砕石及び穴を設置すること（ただし、砕石部分は雨水処理量には含まない。）

注：下水道施設等の接続放流先のない場合の整備について（分流域の場合）

- (1) 道路雨水を浸透槽により処理する場合は、接続管線の布設を将来の下水道計画に合わせて布設すること。
- (2) 家庭用雑排水、汚水（し尿家庭浄化槽）は、接続できません。
- (3) 施設については、衛生上、安全上支障のない構造とすること。
- (4) 安全上支障のない様に土留工を設置し、浸透槽設置後に撤去すること。ただし、円形ライナープレートを使用の場合で、マンホール蓋とのすき間がせまい状態構造とする場合は協議の上で行うこと。その際ライナープレートには、孔あけ加工（φ20～30 20個/m²）を行うこと。

雨水浸透槽 (内径φ1800mm以上) 標準構造図

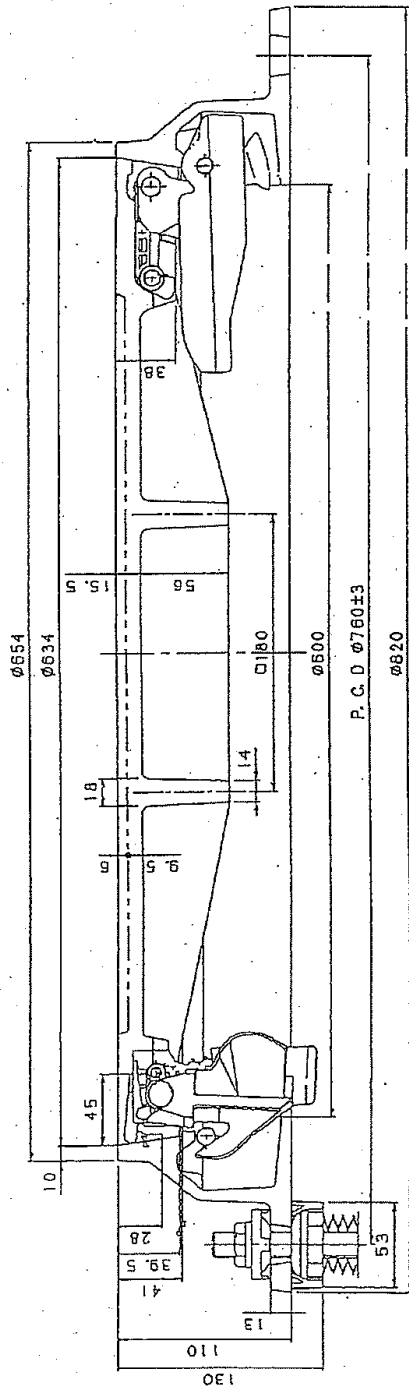


※原則、側面部への砕石及び積水を設置すること (ただし、砕石部分は雨水処理量には含まない)。

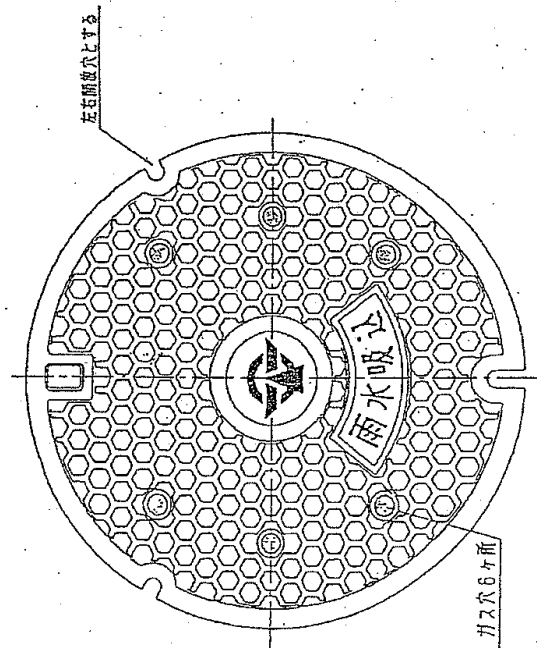
注: 下水道施設等の連続放流先のない場合の整備について (分流域区の場合)

- (1) 道路雨水を浸透槽により処理する場合は、接続管渠の布設を特来の下水道計画に合わせて布設すること。
- (2) 家庭用雑排水、汚水 (し尿家庭浄化槽) は、接続できません。
- (3) 施設については、衛生上、安全上支障のない構造とすること。
- (4) 安全上支障のない様に土留工を設置し、浸透槽設置後に撤去すること。ただし、円形ライナープレートを使用の場合で、マンホール直壁とのすき間がせまい状態とする場合は協議の上で行うこと。その際ライナープレートには、孔あけ加工 (φ20~30 20個/㎡) を行うこと。

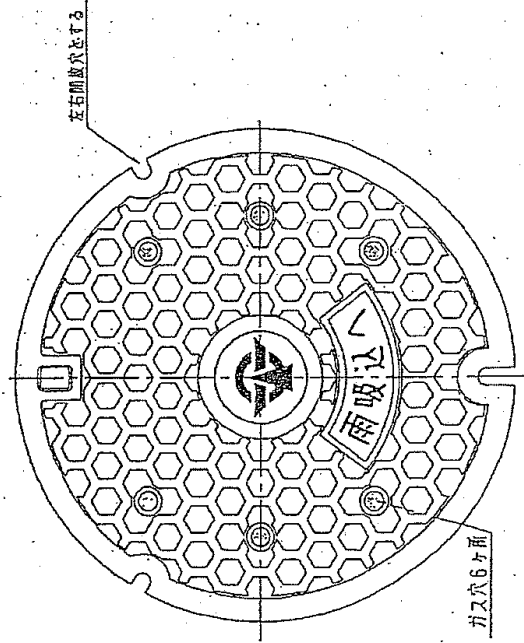
雨水浸透槽
マンホール鉄蓋構造図(雨水吸込、鍵付)



※ロック付転落防止梯子を設置すること。



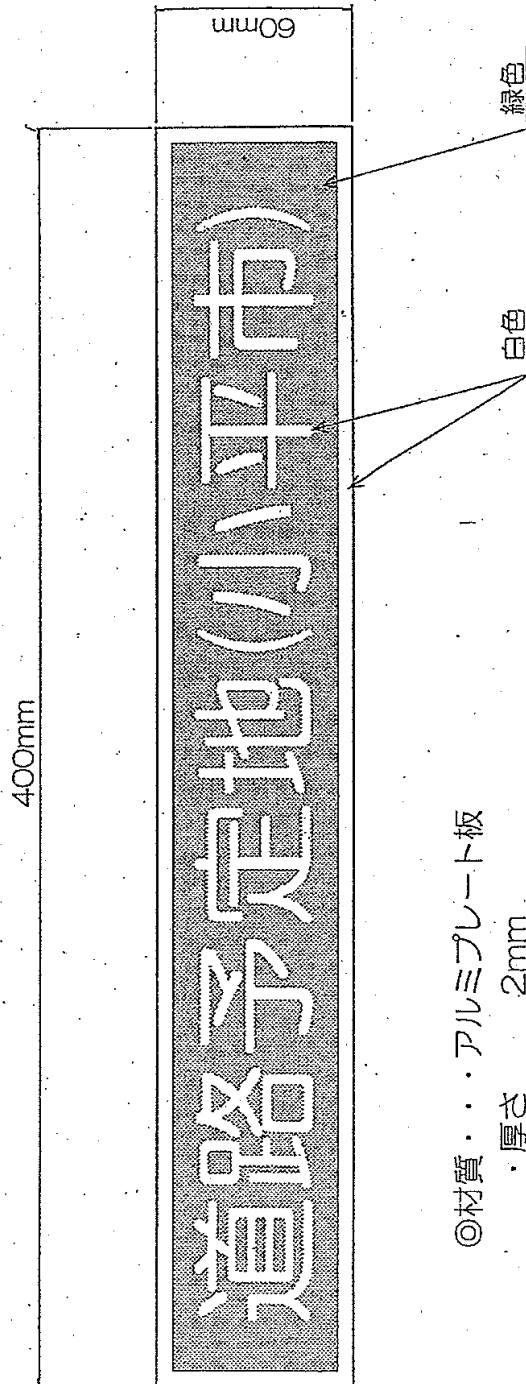
雨水浸透槽に使用する蓋



中間人孔に使用する蓋

注：事業主管理は、市章なしとする。

道路予定地プレート 仕様書



◎材質・・・アルミプレート板

- ・厚さ 2mm
- ・大きさ 400mm×60mm

◎文字・・・マーキングフィルム（緑色）

- ・大きさ 400mm×60mm
- ・文字太さ 3.5mm（白色印刷）
- ・ふちの幅 5mm（白色印刷）

※アルミプレート板にマーキングフィルムを貼り付ける。